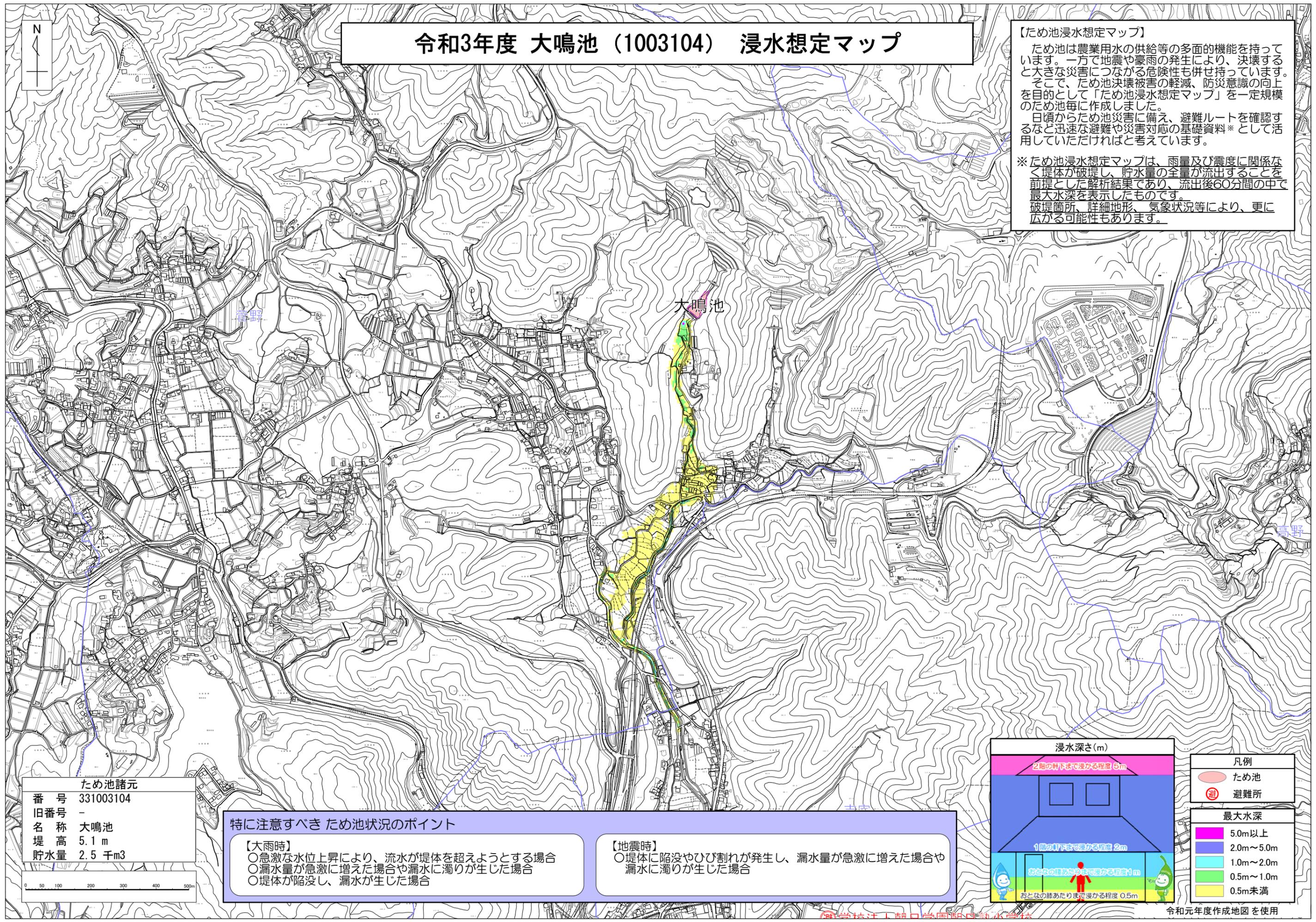


# 令和3年度 大鳴池 (1003104) 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】  
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。  
 日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料※として活用していただければと考えています。  
 ※ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。

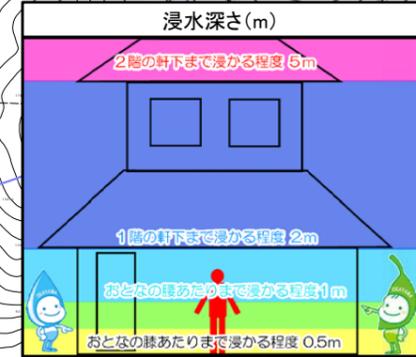


ため池諸元  
 番号 331003104  
 旧番号 -  
 名称 大鳴池  
 堤高 5.1 m  
 貯水量 2.5 千m3

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】  
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合  
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合  
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】  
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合



凡例

- ため池
- 避難所

最大水深

- 5.0m以上
- 2.0m~5.0m
- 1.0m~2.0m
- 0.5m~1.0m
- 0.5m未満